



給食だより

東京農業大学稲花小学校
発行日 2022年12月16日
発行人 校長 夏秋啓子
栄養教諭 佐藤靖子

2022年も、あと少しを残すばかりとなりました。4月には小さかった1年生も、今では2年生と間違えられるほど大きく、また4年生の中には、もう大人と同じくらいまでに身長が伸びる子がいるなど、どの子も一回りも二回りも大きく成長しました。よく食べて、よく体を動かして、楽しい行事が多くある年末年始を元気に過ごしてほしいと思います。

保護者様試食会

12月12、13、16日に、1～3年生の保護者様をお迎えし、子どもたちと同じ給食を召し上がっていただく保護者様試食会を実施しました。うれしいことに多くの保護者様にご参加いただきました。開校当初は毎年新入生の保護者様をお迎えする計画でしたが、コロナの感染予防を考慮して、昨年、一昨年は残念ながら実施できませんでした。

試食会では、夏秋校長によるミニ食育講座や栄養教諭による子どもたちに行っている食育の内容説明、給食業務を委託している共立メンテナンスによる給食実施への取り組みの動画による紹介なども行いました。

保護者様の喫食は、子どもたちより早く終わりますので、子どもたちの喫食の様子も廊下からご覧いただきました。子どもたちは、お父様やお母様の姿を見ると、とてもうれしそうに、はじけるような笑顔を見せていました。思わず手を振ってしまう子どももみられました。それでも、全体的にはいつもにもましてお行儀が良かったように見えました。

みんなと一緒にいただく給食では、笑顔が最高のマナーと心得ております。農大稲花小の子どもたちは、とても明るいです。保護者様のお力添えをいただき、子どもたちの笑顔を大切に、安心・安全な給食づくりに努めてまいります。

どうぞよろしく願いいたします。

牛乳について

学校給食では、牛乳を提供しています。農大稲花小は、給食をよく食べていますが、牛乳は、全体で10%近く残り、そのうちの50%は、全く手がつけられないまま残されています。

農大稲花小では、子どもが、自分の健康や、食物の命、作ってくださった多くの人々の気持ちを大切に思うなど、自らの意志で給食を食べることができるよう指導しております。アレルギーや乳糖不耐症である可能性もあることから、牛乳を飲みたがらない子どもに、牛乳を飲むように強いることはいたしません。

しかしながら、カルシウムなど栄養素摂取の栄養面からも、できれば飲んでほしい食品でもあります。ご家庭におかれまして、お子様が牛乳を飲むのか、飲めないのか、飲めないとすればなぜなのか、今一度様子を見ていただきますようお願いいたします。

英語の先生のお国では

今月は、U.S.A ご出身の Midgett 先生に、子ども時代のクリスマスの食べものについて教えていただきました。

When I was a child, I was in Arkansas, USA.

At Christmas, we had Stuffing in a turkey, ham and sweet potatoes, and a cake called fruitcake. Fruitcake is a pound cake-like with nuts and candied fruits and it is very heavy. I liked it very much but they said "Everyone wants to give fruitcake as a present at Christmas, but no one really wants fruit cake.

What surprised me when I saw Christmas in Japan was that everyone eats small chicken at Christmas. We eat turkey at Christmas and not many people eat chicken. I was also surprised at how small the chicken was. In the USA, Christmas is like New Year's in Japan, when many family members and relatives get together. So we need a big turkey for everyone to eat. In Japan, it is difficult to get a turkey and there are no ovens to cook a big turkey, so I thought it must be chicken.

I was also surprised that our cakes are very heavy, while Japanese Christmas cakes are fluffy and light

学校給食週間

1月23～30日は、全国学校給食週間です。全国学校給食週間は、第二次世界大戦後、東京都内の小学校にLARA（Licensed Agencies for Relief in Asia：アジア救済公認団体）からの給食用物資が贈呈されたことに始まり、現在では、学校給食の意義や役割を児童や教職員、保護者様、地域住民の方に理解してもらうように、全国各地の学校で様々な取り組みが行われています。

農大稲花小学校では、日本最初の給食とされている明治22年山形県の私立忠愛小学校で提供されたおむすびと焼き鮭の献立や第2次世界大戦後によく食べられたクジラ肉でつくったカレーライスなどを提供します。

さらに、夏秋校長自身が小学校1年生のときの学校給食献立表を保管しておりましたので、その時代の給食を再現しました。当時は、保護者の方が白いエプロンをして、給食のお手伝いをされていたそうです。どんな献立なのでしょう。楽しみにしてください。



夏秋校長の小学校時代の給食風景
白い割烹着を着ているのは保護者